

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		衣料品専門店（経営者）	・家族連れ客の消費が底堅いことに加え、昨年低調であった若者向け商品に動きが見られる。また、SARSの影響も終息してきており、明るさを感じられる。
		家電量販店（営業担当）	・雨の日が多い影響で、冷蔵庫やエアコンは思うほど売れていないが、来客数は少し増加しており、客の購買意欲が多少出てきた感じがする。しかし、ボーナス商戦はあまり期待できず、大きく変化することはない。
	変わらない	百貨店（総務担当）	・株価が上がってきて、少し落ち着きを取り戻したように思うが、ボーナスのカットなどにより、基本的な消費者の姿勢は変わっておらず、景気が良くなる兆しは見えない。
		百貨店（営業担当）	・商品、部門で業績にばらつきが目立つ。店頭販売は比較的好調であるが、法人販売及びギフト商品は低調であり、苦戦している。売上が前年を上回る商品数は増加しているが、不調商品の下落も大きい。
		スーパー（企画担当）	・客は非常に節約志向で、必要な物だけしか買わない動向にあり、良くなるとは考えられない。
		コンビニ（エリア担当）	・食料品、日用品は、特に目立った動きはない。ただ6月は、たばこの増税に伴うまとめ買いがあり、7月にリバウンドが来ると思われるが、長期的に見れば影響はない。
		コンビニ（代表者）	・来客数、単価は減少している。特に、建設・土木関係の20代、30代の男性の来客が減少傾向にある。
		家電量販店（店長）	・ボーナスカット等の影響で、客単価が減少する傾向にある。
		乗用車販売店（従業員）	・販売台数は、8月、9月と新車投入で持ち直す見込みもあるが、市場に明るいニュースが少ないので、客の消費意欲は低下する可能性が高い。
		乗用車販売店（営業担当）	・他社と比較しても商品に関しては自信もあり、ボーナスシーズンということで期待をしている。しかし、現時点ではユーザーの動きに変化が見られず、ボーナスシーズンもあまり期待できそうにない。
		旅行代理店（従業員）	・個人旅行は全く不振であったが、SARSの影響も沈静化し、海外旅行への関心も出てきた。これから、夏休みの旅行シーズンに向け、沖縄や北海道はもちろん、海外旅行も含めて、個人旅行の回復に期待している。
		タクシー運転手	・夏休みを迎え、高知ではよさこい祭りが開催されるが、客の様子から「忙しくなる」、「景気が良くなる」という兆候や言動がうかがえない。
		観光名所（経営者）	・SARSの風評も一段落し、徐々にではあるが回復している。
住宅販売会社（従業員）		・将来の経済状況に不安を感じている客が多いので、住宅建築を計画する方がそれほど増加しないと思う。	
その他住宅〔不動産〕（経営者）	・今年に入って低調に推移しており、今後、買い需要が増加するとは思えない。こうした状況が普通の状態であると考えている。		
やや悪くなる	百貨店（営業担当）	・ボーナスシーズンを迎えるが、厚生年金の支払額が大幅に増えたことから、中元商戦に悪影響が予想される。	
	スーパー（営業担当）	・3か月後には営業時間の延長をしてから1年が経過するので、更に営業時間の延長をするか、新たな施策を講じないと、現在より悪化すると考えている。	
	衣料品専門店（経営者）	・高級品に対する慎重な購入態度、単品買いの傾向などは、ボーナスその他で可処分所得が増えない限り、今後とも続く。	
	一般レストラン（経営者）	・多くの子会社を抱えた県内の大手建設会社の倒産に伴い、連鎖倒産などの心理的要因から、先行きの不安、買い控えが一段と増加し、じわじわと景気を押し下げる。	
	都市型ホテル（経営者）	・先行きの予約状況を見ると非常に悪いというのが実感である。景気の回復感、株価は上昇しているが、実態として全く見えてこない。まだまだ景気は悪くなる局面にあると思う。	
悪くなる	-	-	-
	-	-	-
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・機械設備の受注が増加している。具体的には、薬品会社、ダイオード関連の会社の仕事が増加している。

		通信業（営業担当）	・下半期に向けて、システム提案など設備投資の話を聞いてくれる企業が増えてきている。
変わらない		食料品製造業（従業員）	・中国からの畜肉関係の輸入禁止がどうなるか分からないので、変わらないというより分からない。
		電気機械器具製造業（経営者）	・SARSの問題で中国の生産意欲そのものが問題になっており、また、本四架橋の通行料金が値下げされたが、500円程度の値下げでは通行量が増加するとは思えない。こうしたことから、景気は依然として低迷状況が続く。
		公認会計士	・取引先の社長の話や決算書を見ると、売上、利益ともに2、3か月で改善するような状況ではない。
やや悪くなる		一般機械器具製造業（経理担当）	・排出ガス規制にともなう受注がほぼ終わった。
		建設業（総務担当）	・公共工事、民間工事ともに、受注量が極端に減少しており、今後とも回復する見込みがない。
		輸送業（支店長）	・住宅建築基準の変更による新建材などの規制の影響から、在来建材が高騰し、更に住宅着工件数が鈍化すると思われる。その結果、建築・建設資材等の輸送物量にも影響が出てくる。
	悪くなる	-	-
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	職業安定所（職員）	・求職者においては、事業主都合による離職は減少しているが、就職できずに長期間求職活動をする人が多い。
	やや悪くなる	職業安定所（職員）	・パートを含む有効求人倍率は0.45倍と5か月連続で減少している。新規求職者、有効求職者が増加するとともに、不況によるリストラなどの離職者が対前年同月比で3割増加しており、好転の兆しがない。
		民間職業紹介機関（所長）	・給与水準の低下が見受けられる。また、有期雇用が増加している。
	悪くなる	-	-